

## 『国際学研究』執筆要領

1. 投稿原稿の使用言語は、日本語（和文原稿）または英語・中国語・朝鮮語（外国語文原稿）を原則とする。
2. 投稿希望者は指定された期日までに、所定の題目届用紙に論文題名、英語による題名（提出する予定の論文が外国語の場合は、日本語による題名）、氏名（日本語、外国語またはローマ字）、職名、共同研究者氏名（連名の場合）、および和文・外国語文の別を記して、論究編集委員会に届けること。
3. 和文原稿はA4用紙に36字×35行に書式を設定し、原則として16枚以内（タイトル、図表、写真を含む）にまとめ、電子媒体（USBメモリーなど）を添えること。電子媒体には必ず氏名、論文タイトルを明記し、提出すること。
4. 外国語文原稿は、A4用紙にダブルスペース、10.5ポイント、1枚23行、原則として25枚以内（タイトル、図表、写真を含む）にまとめ、電子媒体を添えること。電子媒体には必ず氏名、論文タイトルを明記し、提出すること。
5. 原稿には、約200語からなる英文アブストラクト（要旨）または同程度の外国語文アブストラクト（要旨）および400字程度の和文アブストラクト（要旨）を添付し、必ず投稿時に提出すること。
6. 本文が和文の場合、和文題目、英文題目、著者の和名、著者のローマ字名（姓は大文字で記載）、和文アブストラクト、英文アブストラクト、和文キーワード、本文・・・の順に書くこと。
7. 本文が外国語文の場合、外国語文題目、和文題目、著者の原名、（原名と異なる場合には）著者のローマ字氏名、外国文アブストラクト、和文アブストラクト、外国語文キーワード、本文・・・の順に書くこと。
8. キーワードは3語程度を添えること。本文が和文の場合は和文キーワード、外国語文の場合は外国語文キーワードとする。
9. 文献記載様式は、注（引用文献など）と参考文献に分けること。
10. 図や表の書き方は仕上がりを美しくするため、掲載したい大きさの1.5～2倍のものであることが望ましい（原図には縮尺を入れておく）。なお図、表、写真等は全文刷り上がりの16ページ分を限度とし、それを超える場合には掲載を断ることがある。
11. 一旦提出した論文の内容に関する変更は認めない。
12. 執筆者の校正は2回とし、別に編集委員が校正にあたることがある。

以上